

株式会社 宇野牧場 / 北海道

北海道の最北端の稚内市にほど近い天塩町に立地し、120haの牧場で乳牛100頭を飼育する放牧酪農家。6次産業化の認定を受け、2013年から乳製品加工・販売（ミルク豆腐など）を開始。乳製品の売上げ増加と人手不足からくる作業効率の向上が課題。

設備投資

固定資産税の軽減措置を活用し、ソフトクリームの製造機器（ソフトクリームフリーザー）を導入。新たにソフトクリームの製造販売を開始する。

ソフトクリームの販売開始により、**売上が10%UP**。また、こだわりの牛乳（素材）の良さの認知にもつながら、同社ブランドの牛乳、アイスクリーム、ヨーグルトなどの**製品の付加価値の向上**など、**好循環が生み出されている**。



人手不足の解消

人手不足により新規雇用が難しく、地域で離農が進んだことにより生まれた余剰農地を活用した事業拡大に踏み出せない状況が続いていた。

低利融資を活用し、**ロボット搾乳機**を導入することで、**生産性を向上させ、現在の労働力で増頭と事業拡大を図るプランを開始している**。



長州ながと水産 株式会社 / 山口県

山口県の日本海側の島で、清浄な海水で生育したトラフグおよびヒラメの養殖・加工を行う。6次産業化の認定を受け、トラフグの身欠き加工（皮と有毒部位除去）を行い高付加価値化を図っているが、既存の卸売や首都圏・海外への販路拡大が課題。

設備投資

トラフグを増産するため、自社養殖場（陸上養殖）に水槽を増設。水槽、酸素発生装置、吸水ポンプなどを導入。

水槽の増設によりトラフグの**生産量および売上が15%UP**。更なる増産を求められている状況。

積極的な増産・差別化により、引き続き、**国内市場での競争力を強化**。



販路拡大

国際規格に準拠した飼料での生産方法を採用し、海外の和食ブームを取り込み、海外市場の開拓を行う。

海外の日本食レストランとの取引開始を目指し、ロシア向けの**テスト輸出の折衝中**。

